

## 質疑応答

説明会概要

2021年8月10日（火）16:00-17:00

Zoom ウェビナー

機関投資家・アナリスト向け

**質問 1. 御社5月発表のQ1決算では、Q2の方に費用が増加するという話だったが、結果としてあまり増加していない理由は。**

回答 Q2にはあまり効かずに下期にずれた。

**質問 2. 費用について、上期から下期にかけて増加する項目を教えてください。**

回答 上期に対し下期に大きく増えるのは人件費。これは人の採用によるもので、後半に製造原価に効いてくる。その他費用として、輸送費や調査分析費、消耗品費、修繕費などが増加する。

**質問 3. 売上高は、上期と下期が同じという計画になっている。主な製品の動向を教えてください。**

回答 下期に、売上が落ちる可能性があるのは「EXE」。これはフラットパネルディスプレイのCOF（Chip on Film）用で多く使われている。下期に調整の可能性がある。「SF」はタブレット PCの需要が下期に少し落ち着くと慎重に見ている。逆に、半導体需要は旺盛で、関連する「CZ」に関しては、引き続き増加すると見ている。

**質問 4. 為替の影響について、教えてください。**

回答 主に台湾ドルと中国人民元の影響が大きかった。USDでの取引は少なく、あまり影響はない。

**質問 5. 密着向上剤について、売上増だが数量減の原因は何か。**

回答 原因は為替。それが一番効いている。国別では凸凹あるが、上期を通して見たときには地域で上がった、下がったという感じではない。

**質問 6. 生産拠点はどこにあるか。生産能力増強が急務ではないか。**

回答 生産拠点は、日本は2箇所（新潟県長岡市、兵庫県尼崎市）、海外は5箇所（台湾、中国蘇州、中国珠海、タイ、ベルギー）。現状、グループ全体では、生産キャパはまだ余裕がある。生産能力増強に関しては今後の動向を注視して対応する。

**質問7. 下期はQ3、Q4フラットで見ればいいのか。**

回答 フラットでいくと見ている。

**質問8. CZシリーズのロードマップを具体的に教えてほしい。**

回答 CZシリーズにはCZ-8201という製品があり、これは、現在主流のCZ-8101よりも細かく粗化するタイプである。つまり、配線幅がより細いものに対応しやすく、かつ、伝送損失は少ない。その先に、さらに細かく粗化するCZ-8401がある。また、完全に平滑で対応する化学密着もある。

**質問9. エッチング剤「EXE」に関してはどうか**

回答 COF向けに高いシェアがあるEXEはこれからも安定していると考えます。また今後「EXE」を使用したPCB向けの販売を増やしていくことを目指す。

**質問10. AiP (Antenna in Package) に関してどう考えているのか。**

回答 AiPを用いた本格的な5Gの立ち上がりには、2023年以降と考えている。

以上